



# 今年の稲作の反省

河内地農業改良普及所 関 口 好 造

全国的に六年連続の豊作が予想される現段階にあって、当地の稲作についても反省し今後の稲作の改良に資したいと思ふ。紙面の都合上、技術的方面にのみ限らせて置きます。なおお含み下さい。結論から申しますと水稲改良の構成要素は穂数と穂大きさの増大と中粒重によって決定され水稲作農家の努力もまたそれに向つて計画の進められていく。そこで「品種」のことから述べますと県の奨励品種は早生種、ホウネンセ、トネワセ、中生種、マシヒカリ、ギンマ、サシ、晩生種、農林二九号、農林三五、若葉、中生新千本水稲では備後種十号、備後品種に増玉十号があり、また当地域に於てはこれら品種の外早生種でコシヒカリが相当面積作付されホウネンセと共に見望される本年度奨励品種に入った。コシヒカリは品質食味に於ては、尚ほコシヒカリの栽培上の要



点については特に要素質原料の施用上において注意が必要である。「苗代」については「早期播種」の普及及び「一二期播種」が段と早やめられ播種期がやがて三月十日頃より下りされてくる然し、

## 昭和35年産米出荷状況

本年の予約103,082俵  
あと5,444俵で完了

出荷状況内訳 (10月10日現在)

業者名	予約数	買入数量	比率	内予約外
金江津農協	25,144	24,278	96.5	4
野村	6,789	6,711	98.1	6
大岩	8,356	8,088	96.7	9
木	2,935	2,895	98.6	1
長野農協	6,519	6,250	95.8	1
田	4,382	4,259	97.2	2
源清田農協	2,860	2,781	97.2	2
宮本	9,421	9,001	95.9	1
本	6,689	6,237	93.2	4
本	4,778	4,271	89.4	4
生飯農協	14,570	13,369	91.1	2
秋	4,239	3,946	93.0	5
坂	4,542	4,113	90.5	5
小野瀬	1,758	1,554	88.4	4
合 計	103,082	97,753	94.8	115

尚高農機事務所より、予約米の買入れが一落千仞で予約外の米を買入中であり、有利な政府価格で売渡すようとの事でありませぬ。

たが結果的には水管理等の上から田前前の使用が稲に對する影響(弊害)も少ないことが認められた。尚ほ中耕無用論が盛んに行われているが、ハマガリバの発生による田圃の荒れが阻害するものも相つたが、全般的には五月下旬六月上旬に最低は必要が多い。葉生長期(全期)には有効な数に達しないが、遅分が昨年比が多いこと、肩米が軽いこと、生は二粒虫の発生が、前年度比減少、早生種に對し四〇〇程度の低率である。六月下旬より早生種に對しては、水稲の播種時期と對する関係が、(1)品種の選定、(2)田圃の時期と、(3)播種方法、(4)肥料の種類と施用方法に於ては、(5)播種時期と、(6)苗代期に於ける苗の隔離、(7)早播栽培に於ける時期別発生による観察と診断、(8)病害も恢復し生は順調に進み、早生種中生種で七月下旬八月上旬は高温と降雨不足の現況があらわれた結果、土壌含水量が減少した。結果として、秋の稲刈りに見られる飯白米が多くなる見られた。それと八月十四日より二十三日の間の平均気温の低下、低温による生育の遅延、等に出産期に等しいと思ふ。以上観察調査の結果の概要を述べ、詳細については別紙を添付し、御連絡をお願ひいたします。

たが結果的には水管理等の上から田前前の使用が稲に對する影響(弊害)も少ないことが認められた。尚ほ中耕無用論が盛んに行われているが、ハマガリバの発生による田圃の荒れが阻害するものも相つたが、全般的には五月下旬六月上旬に最低は必要が多い。葉生長期(全期)には有効な数に達しないが、遅分が昨年比が多いこと、肩米が軽いこと、生は二粒虫の発生が、前年度比減少、早生種に對し四〇〇程度の低率である。六月下旬より早生種に對しては、水稲の播種時期と對する関係が、(1)品種の選定、(2)田圃の時期と、(3)播種方法、(4)肥料の種類と施用方法に於ては、(5)播種時期と、(6)苗代期に於ける苗の隔離、(7)早播栽培に於ける時期別発生による観察と診断、(8)病害も恢復し生は順調に進み、早生種中生種で七月下旬八月上旬は高温と降雨不足の現況があらわれた結果、土壌含水量が減少した。結果として、秋の稲刈りに見られる飯白米が多くなる見られた。それと八月十四日より二十三日の間の平均気温の低下、低温による生育の遅延、等に出産期に等しいと思ふ。以上観察調査の結果の概要を述べ、詳細については別紙を添付し、御連絡をお願ひいたします。

## 秋の全国交通安全運動

10月21日より10日間

無茶な運転、不注意な歩行、不注意な自転車乗り、これらがからみ合つて交通の不安が増大しています。毎年春秋二回きまつて安全運動が行われ規則を守る安全な交通の習慣をつけることになっていますが、本年は殊に新「道路交通法(十一月二十日施行)」が近く施行されるときでもありますので、お互い正しい交通を身につけて交通安全を圖りたいものです。

が、おられた為、学校後、参加希望団体に、少なからざる委託教育の免許状を、資格取得証明書所有者、深く御礼申し上げます。

できました

本会は、市民の体位向上と健全な体育振興を図り、文化社会に寄与することを目的として、以下の二事業を、

1. 市民の体育振興に關する調査研究
2. 体育団体の連絡
3. 体育に関する講習会、研究会、講演会の開催
4. 各種技会の開催
5. 体育の指導奨励並に指導者養成
6. 競技優秀者及び体育功労者の表彰
7. 施設の拡充
8. その他体協の目的達成に必要な事項

委員長に野田武雄、

第一分団 大野敏夫、牧山忠

第二分団 利、秋田三

第三分団 野田武雄、推賢寛

第四分団 平川清治、大塚健

第五分団 沼崎晃、本橋嘉一

第六分団 田辺久爾、大原富士

第七分団 佐藤誠、大原富士

第八分団 柴井隆、細谷利夫

第九分団 鈴木一

第十分団 藤田武雄、青木正年

昭和三十六年度

茨城縣公立小中校教員

茨城縣公立小中中高等教員

茨城縣公立小中中高等教員

採用選考試験実施要項

一、試験期日及び場所

昭和三十三年十一月十一日(日曜日)

同(水戸市北三の九九九市立第二中学校)

二、受験資格

小学校または中学校の教諭免許状(仮免許状)及び仮免状を所有する者を含む

三、所要する者

昭和三十三年三月三十一日までにこれを取得する申込の者

## 文化祭の日程及び行事等決る

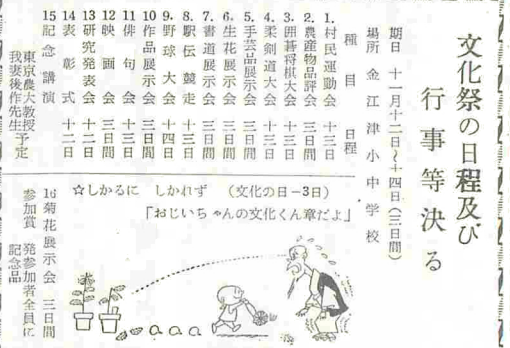
期日 十一月十二日(十四日)三日間

- 場所 金江津小中学校
- 種目 日程
1. 村民運動会 十三日
  2. 農産物品評会 三日間
  3. 開校記念会 十三日
  4. 剣道大会 十三日
  5. 手芸品展示会 三日間
  6. 生徒展示会 三日間
  7. 書道展示会 三日間
  8. 駅伝 競走 十三日
  9. 野球大会 十四日
  10. 作品展覧会 三日間
  11. 俳句会 十三日
  12. 演劇会 十三日
  13. 研究発表会 十二日
  14. 記念講演 十二日
  15. 表彰式 十二日
16. 菊花展覧会 三日間
- 参加賞 記念品
- 記名参加者全員に

## これからの学校運動会の在り方

従来からの運動会は、娯楽運動会的の少なからぬ村の村民に對しては、唯の娯楽の体育本来の目的達成のため、計画的、レクリエーション的、面的な運営されなければならぬ。従前の慣習や、旧態依然の在り方に、文部省令は特に次のような留意点をあげておられます。

- 一、あまでも、児童生徒の教育の一端であることに留意して成るべく他団体への入ることは好くない。
- 二、児童會、生徒會での話合や係の活動などを重んじ、自発的、自主的に運営、参加させる。
- 三、小学校は明年度から、中学校は本年度から、それぞれ新教育課程の完全実施となり、眼下では勿論、小、中学校が併せての練習に留意して運営されることにならざるを得ない。村民のかたがたは、格段の理解と御協力をお願いする次第です。尚、本年度はこのこと連絡



低周波治療器、心電計

用電範囲

(1)筋のあらゆる運動筋と委縮

小児麻痺、中風顔面神経麻痺分枝麻痺等を種麻痺

(2)関節の麻痺

関節炎に於ては、関節運動障害リウマチ、関節外傷後の障害骨折及び関節手術後の障害等

(3)特定の筋を用いる運動の前後

特に音楽家の練習、スポーツ家の疲労回復、トレーニング等

(4)マツザジの有効なるあらゆる場合

神経痛、腰痛、腿腰いたみ、捻挫、疲労

(5)人工呼吸(横隔膜神経刺激)による絶対安静の(鉄の肺に繋るべきもので

(6)外科手術時の神経系探索

(7)尿 症

(8)薬剤のイオン導入法

(9)電 計

心臓の悪い方、少しく動悸が絶する者、又は高血圧が長く続する者等を科学的に正確に、無痛で測定する。測定は當診場所の診察範囲に制限はありません。

金江津長江方面も、地方法院が留守の場合、緊急時にいし、電話、本で、夜間診も致します。是非御利用下さい。

直診電番 河内一、二五番

©七五三祝は簡素に致しましょう